土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　福山港　港湾海岸保全施設耐震性能評価業務委託（野々浜地区）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　港湾 地震・耐震

ボーリング名	BorNo. 2'	調査位置	広島県福山市大門町5丁目13-40地先			北緯	34° 29′ 9.740″
発注機関	広島県東部建設事務所			調査期間	2023年 3月 7日 ～ 2023年 3月 13日	東経	133° 26′ 41.668″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 4.19m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-B
総削孔長	9.00m								エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	4.29	0.10		アスファルト		黒灰					
	3.99	0.20		粘土混じり砂礫		暗青灰					
	3.89	0.30		アスファルト		黒灰					
1										細～粗砂主体になる。礫は5mm～30mm程度の大きさ主体になる。色土分が混じる。	
2											
3				玉石混じり砂礫		暗青灰					
4										細～粗砂主体になる。礫は5mm～40mm程度の大きさ主体になる。大局的に粘土分が混じる。玉石は5cm～10cm程度の大きさが存在する。	
5											
6											
7	-2.71	6.90		砂質シルト		暗灰				均質なシルトが主体。砂は、細～中粒分主体。	
	-3.41	7.60									
8	-3.81	8.00		シルト質砂		暗灰				中～粗砂主体。	
				シルト混じり礫質砂		暗灰				非常に緩まる。砂は中砂主体。礫は5cm～10mm主体。シルトが下層に入る。	
9	-4.81	9.00									
10											

標準貫入試験

深度	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
深度－N値図 0 10 20 30 40 50								

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
2.9					
	S2' 1	⑤	含水比		
3.3					
3.9	S2' 2	⑤	粒度（一部）		3/7
4.9					
					3/8
					3/9
8.35					
	S2' 3	⑤	含水比・粒度（一部）		3/11
9.9					